



西覚寺だより

第8号

年三回発行

法要のご案内

● 日 ち 七月十五日（水）

● 孟蘭盆会

時間 午前十時半 ～ （一時間弱）
内容 ・ お勤め（重誓偈）
↓ みなさんでの唱和はしません
・ ご法話

※感染症対策のため「お齋」はありません。
申し訳ありません。

● 物故者追悼法要

時間 午後一時半 ～ （一時間弱）
内容 ・ お勤め（阿弥陀経）
↓ みなさんでの唱和はしません
・ ご法話

※別途ご案内させて頂きました物故者のご家族の皆様は、ぜひお参りください。
物故者のご家族以外の方も、どうぞお参りください。

● 布教使 加藤秀人 師（吉良町・中堅）

● 持ち物 必ずマスク着用の上、御参拝下さい

お念珠、門徒式章（お持ちの方）、御仏前（受付にお渡し下さい）
みなさま、ぜひお参り下さい!!

法要を勤めるにあたって

3月の春季彼岸会から、みなさまの御参拝のない状態でしたが、緊急事態宣言も解除されましたので、孟蘭盆会・物故者追悼法要からは、以前のように御参拝頂こうと思っております。しかし、依然として新型コロナウイルスの脅威はなくならなかったわけではありませので、可能な限りの対策をした上で、法要を修行してまいりたいと思っております。具体的には、

- 参拝の方は、全員マスク着用のこと
お忘れの方には、こちらが用意したものを着用して頂きます。
- 受付では、総代さんとの接触を避ける形で受付をお願いする予定です。
- 受付前に、こちらが用意するアルコール製剤にて、必ず手指消毒。
- 本堂に上がる前に、非接触体温計で、体温を測らせて頂きます。体温が平熱より高い方は、御参拝をお断りする場合があります。

【法要中のこと】

- 本堂の窓は、全開とします。
- 三密の「密接」を避けるため、本堂でのお経は、住職のみで勤めます。
- 「密集」を避けるため、椅子の間隔を、いつもよりあけて配置します。
- ご法話のご講師やその他スタッフは、マスクとフェイスシールドを着用。
- 長時間の滞在も忌避すべきですので、法話の時間も平時より短くなります。
- お齋もご用意できません。
など、考え得る対策をした上でお待ちしています。どうぞ御参拝下さい。よろしくお願ひ致します。

▽お盆のお参りについて△

お盆期間のお参りについて、以前からご協力をお願いしていますことを、茲許ご縁を頂戴した方もいらっしゃると思いますので、改めてお知らせさせて頂きます。

● 8月12日

基本的には、ご希望のお日にちは承りますが、時間についてはこちらで決めさせて頂きます。一週間前にはお時間が決まっているかと思えますので、改めてお電話でご確認ください。

● 8月12日

この日に関しては、従前から安城市外のお宅を重点的にお参りさせて頂いた日にしており、安城市内の方は、できましたらご遠慮ください。

依然としてコロナ禍中ですが、お盆は亡き方を偲びお参りする年に一回の大切な機会です。お近くにお住まいのご家族だけでも構いません。ぜひお参りさせて頂きましょう。今までお盆参りをされていない方も、どうぞご依頼ください!



私たちの生きる意味 なぜ生かされているのか

第二回/全三回



承前、「私が多くの恩恵やご縁を頂きながら生かされている意味」について少し考えさせて頂こうと思います。

以前、ある僧侶の方がこんなお話をされていました。「私が生きる意味は、私がおぼろげにわかっていない。なぜなら、生まれること自体が、私の思い通りではない。すでに与えられているのである。与えられた命の意味を、私が思うように決めるなんて、おこがましい。私の生きた意味は、後の人が考えてくれる。」極論のようにも思いますが、なるほどと納得したことでもあります。

「私が生きる意味はこれだ！」と言えればかっこいいですが、そんな人は稀です。では、そういうものがないまま命を終えた方の命は、むなしいのでしょうか。また、その時は「これだ！」と思ったとしても、身の回りの状況が変われば、つまり縁が変われば、その「これ」は変わらざるを得ない。私も前職の時は、その仕事为天職のように思っていました。今はまったく違うことをしています。でも、それでいいのではないのでしょうか。今は今で、頂いているお役目を微力ながら専一心務めているつもりです。そんな私を受け入れてくれる人がいて、とてもありがたく思っています。

そう、「私が生きる意味はこれだ！」と私が言ったところで、縁ある人がそう思っているかはわかりません。「そんな頑張らなくてもいいよ、ただいてくれれば」と思っているかもしれない。私という人間、その命は、あくまでまわりの縁があつて初めて成り立つ。そう考えたときに、先の僧侶の言葉も腑に落ちるのではないのでしょうか。

「私が多くの恩恵やご縁を頂きながら生かされている意味」は、私の中にないのでなく、私を生かすさまざまな縁の中にある。心理学用語を引用すれば、「対他的意味」とでもいいかもしれません。私の生きる意味は私が決めるのではなく、まわりの人の想いの中に。私(その人)が生きる(生きた)意味は、縁ある人(私)の中にこそあるのだと思います。その「意味」は人それぞれでしょうが、そこに「意味」はあるのです。例えば、両親からすれば私は「息子」であり、連れ合いからすれば私は「連れ合い」、友人からすれば私は「友人」。これも、いまを生きる、私の大切な「意味」です。私たちは生まれたその瞬間、もしかするとその前から、私の命の意味が与えられているのでしょう。そう考えると、この世界にむなし命、意味のない命なんてひとつもないのです。

「私の生きる意味」を求め、あがき、悩みぬかれた方、親鸞聖人もそのお一人なのかもしれません。(次号へ)

ご法事承ります

初盆、一周忌、三回忌、七回忌、十三回忌などなど。

ご法事はとても大切なご縁です。亡き方に感謝し、亡き人を偲ぶ日です。亡き方がいなければ、私たちの「いのち」はここにはありません。

そしてご法事は、私たちが「阿弥陀さま」にお参りをさせて頂き、仏さまのお話を聴かせて頂く大切なご縁でもあります。日ごろ、なかなか手を合わせる事がない私たちに、亡き方々が与えてくださる「阿弥陀さま」と私たちがとの大切な時間、それがご法事です。ぜひ、お勤めさせて頂きましょう。

こんな状況ですので、遠方の御親戚にはご遠慮頂いて、ご家族だけでお勤めしてもいいと思えます。「三密」がご心配なら、ぜひお寺の本堂をご利用ください。消毒用品もご用意しています。最近では本堂をご利用頂く方も増えてます。

皆様の本堂です。

お気軽にご利用ください。

(使用後は、消毒作業もしていただきます)



住職の一言コーナー

3月からさまざまな寺院活動を自粛してきました。6月に入り、緊急事態宣言が解除されましたので、少しずつお寺の活動を再開しています。

たとえば、3月から休会していた「正信偈に学ぶ会」の第二十回(修了式)を6月14日に行うことができました。

また、「初参式並びに小学校入学祝いの会」は、当初の予定通り、6月7日に開催することができました。5人の子どもたちが受式してくれました。

6月9日には、「西覚寺責任役員並びに門徒総代会」を招集し、「2019年度活動報告ならびに決算」。「2020年度活動予定並びに予算」を上程し、適正な運営をご確認、ご承認いただきました。

ヨガ教室も感染症対策を講じつつ、6月から再開しています。どれもこれも、この紙面でご報告したことがかりですが、限りがありますので諦めます。それらのことは、西覚寺のHPで順次ご報告しますので、よろしければHPもぜひご覧ください。



浄土真宗本願寺派
西覚寺

安城市朝日町12-8

☎0566-76-3594

http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/